

サイエンスカフェの御案内

日 時 : 平成29年1月27日(金) 19:00~20:30
場 所 : 日本学術会議5階5-A(1)(2)会議室
東京都港区六本木7-22-34
主 催 : 日本学術会議
テ ー マ : Web 討論型世論調査 - ミニ・パブリックスを用いた世論形成の可能性
講 師 : 坂野 達郎さん (東京工業大学環境・社会理工学院・教授
日本計画行政学会専務理事)
ファシリテーター: 柴田 徳思さん (日本学術会議連携会員)

内 容 :

国民意識を捉える代表的手法に世論調査がある。しかし、世論調査の回答者は必ずしも十分な情報を持っているわけではない。そのため、世論調査の結果を良質の民意とみなすことは難しい。一方、タウンミーティングなどの場で討議を行えば、意見の質は高まるかもしれないが、そのような場に集まる参加者の属性には偏りが生じることが多いため、意見の代表性が問題になる。この討議の質と代表性をめぐる二律背反問題を解決する方法として、無作為抽出した市民(ミニ・パブリックス)を活用した社会実験が世界各地で行われている。無作為抽出された市民が、十分な情報提供の下で討議を行えば、代表性と討議の質を高めることができるはずだという着想に基づいている。討論型世論調査(Deliberative Polling®の頭文字をとり以下DP)は、そういった手法の一つである。

現代社会においては、高度科学技術がもたらすリスクはその影響の大きさにもかかわらず、市民が日常的な経験をもとにリアリティを持って下せる判断の領域を超えている。「科学的合理性」と「市民的合理性」の対立は、現代社会固有の問題である。DPは、両者のかい離を克服し、熟慮された社会的判断を構築するための方法になりうるものと期待される。

こういった問題意識から、2015年3月、高レベル放射性廃棄物処分方法をテーマとしてWeb会議システムを用いた討論型世論調査を実施した。同調査の結果をもとに、DPの可能性と問題点について参加者の皆さんと話し合いたいと思っています。



【参加方法】

事前申し込みでの受付となります。

「氏名」及び「1月27日サイエンスカフェ参加希望」と書いたEメールをkadaibetu-scj@cao.go.jp までにお送り下さい

【参加費】 無料 【定員】 30名

【アクセス】

千代田線「乃木坂駅」5番出口 徒歩1分

<http://www.scj.go.jp/ja/other/info.html>